

飯山市教育懇談会（木島小学校区）発言要旨

平成25年9月26日（木）木島地区活性化センター

- ・通学路について、冬期間のことを考えると歩道設置が望ましいが道路幅が狭くなってしまう。グリーンゾーンの設置をお願いしたい。
また、勤労者体育館交差点への信号機設置と、五差路の改善をお願いしたい。
- ・飯山市の小中学生の学力はどうか。また公表しているのか。
- ・自分の中学生時代を振り返ると、塾もなく木島地区の子どもは学力が劣っていると感じた。これからは親も頑張るので宿題を増やし、先生には具体的な指導をお願いしたい。
- ・市はスポーツには力を入れていると感じるが、スポーツ以外の文化芸術等に取り組んでいる事業や計画はあるか。
- ・自校給食は他市にはない大変素晴らしいこと。継続することは嬉しい。
また、芸術文化にも力を入れていただきたい。子どもたちが文化芸術に触れる機会が非常に少ない。文化芸術にもご支援いただきたい。
- ・中学校登下校について、木島地区は全員スクールバスで通学できるようにお願いしたい。
- ・城南中学校の移転が年度途中なので、受験前に環境が変わり、生徒・保護者に動揺はないのか不安が大きいと思う。
- ・子ども達に体・心・物事の考え方のたくましさを育ててもらいたい。問題にぶつかっても、答えを出そうとする粘り強さとたくましさが欲しい。
飯山小以外は単級。一つの単元でも良いので、2～3の学校が一緒に授業をして、子ども達や教員に刺激を与えてほしい。

教育委員会：

塾通いと学力の話がありましたが、全国学力テストの結果が高い県は秋田・福井・石川県で、決して塾が多い地域ではありません。これらの県は体力テストの結果も全国トップクラスです。『秋田県はなぜ学力が高い』の中では、落ち着いた学習環境と生活環境が大切だと述べています。昨年視察をした福井県にも落ち着いた生活環境があり、三世代同居率が高く高齢者が多い、犯罪率が極めて低いとのこと。これらは木島地区と同じ状況です。塾へ行かなくても十分学力は付けられます。一番大事なことは子ども達が落ち着いて家庭生活、学校生活を過ごせる環境があることだと思います。